

つなげたい

地域とのかかわり・体験活動

地域にかかわることで、たくましさや豊かな心とともに社会性が育まれ、地域への愛着がより一層深まります。また、体験活動を通して、自他の生命を尊重するなどの道徳性が育まれます。

地域のボランティア活動に参加したり、公民館などの社会教育施設を利用したりするなど様々な体験活動を計画してみましょう。

やる気・生きがい

“関心・意欲” “チャレンジ精神” “地域への愛着”

豊かな心

“自然を大切にす気持ち” “命の尊さ” “感謝の気持ち”

- | | | | |
|---|--|-----------------------------|------------------------------|
| 1 | 地域の方々（近所の方）にあいさつをしている。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| 2 | 公共の場でのマナーを意識するよう話をしている。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| 3 | 地域行事（ボランティア活動、スポーツ・文化活動等）に積極的に参加するよう促している。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| 4 | 学校の部活動や地域のクラブ活動等に参加するよう促している。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| 5 | 図書館・公民館・博物館・美術館・自然の家等をよく利用している。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |

「はい」の数 個

スマートフォン・ケータイ

内閣府の調査*1では、中学生の66.7%がスマートフォンまたは携帯電話を所有しています。その保護者のうち、86.7%が「インターネットの利用に関するルールを決めている」と回答していますが、71.3%の子どもしかその認識はありません。

被害者にも加害者にもならないように、インターネットを適切に利用する必要があります。親子で話し合い、下記のような家庭のルール*2を決めることが大切です。

- 困った時は、すぐに相談する。
- 友達にメールやメッセージのやり取りを強要しない。
- インターネットを使わない子を仲間外れにしない。
- 利用する場所や時間帯を決める。
- パスワードは保護者が管理する。
- お金がかかる場合は事前に相談する。
- 名前、顔写真、学校名など（個人情報）は書き込まない。
- 他人を誹謗中傷する書き込みをしない。
- 知らない人のメールに返信しない。



*1平成29年度青少年のインターネット利用環境実態調査(内閣府)から
*2学校から発信する家庭教育支援プログラム中学校資料(千葉県教育委員会)から

「親力アップいきいき子育て広場」の活用を!

聞いてみよう子どもの声、子育て豆知識、おすすめの本など
家庭教育・子育てに役立つ情報を発信中!



【QRコード】

発行/千葉県教育庁教育振興部生涯学習課

〒260-8662 千葉市中央区市場町1番1号 TEL 043-223-4069・4167 FAX 043-222-3565

【家庭教育の支援】 <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shougaku/renkei/kateikyoku/index.html>

中学生の
保護者の
皆様へ

親子のかかわりを大切に



思春期の特徴をよく理解し、共に考える存在に!

中学生という時期は、子どもから大人へ成長する過渡期で思春期といわれ、心と身体が急速に変化していきます。大人の世界に入るという不安、葛藤など様々な点で悩み、苦しみ、試行錯誤を繰り返しながら、大人になる階段を上っている時期です。

お子様の思いや、挑戦する姿勢を尊重し、たとえ失敗しても“失敗は成功のもと”と励ますなど、気持ちを受け止め、一緒に考えることが大切です。

各ページにチェックリストがありますので、日ごろの親子のかかわりを振り返ってみましょう。
チェックリストの内容は目安です。

「親子のかかわり」 ここがポイント

身に付けさせたい

基本的な生活習慣と規範意識

子どもが自ら考え、正しい判断ができるように、礼儀や社会のルール、善悪の判断などを身につけさせましょう。そのためには、親（保護者）が自らお手本を示すことが大切です。

- 生活のリズム
- 礼儀
- 思いやり
- ルールを守る

- 生活のリズム（早寝・早起き・朝ごはん）について親子で話している。 はい いいえ
- 身だしなみについて話している。 はい いいえ
- 家族みんなであいさつをしている。 はい いいえ
- 気になった言葉遣いや、やってはいけない行動は、その場で正している。 はい いいえ
- 祖父母やお年寄りを大切にする親の姿を見せている。 はい いいえ
- “いじめや差別・偏見は許されない”ことを教えている。 はい いいえ
- “自分の子どもだけ良ければ”という考えをもっていない。 はい いいえ
- 日ごろから思いやりについて話している。 はい いいえ
- 家庭のルール（テレビの時間、スマートフォンの使い方、帰宅時刻など）を決めている。 はい いいえ
- 社会のきまり（法律・交通ルールなど）の大切さについて話している。 はい いいえ

「はい」の数 個

深めたい

親子のコミュニケーション

子どもにとって、家庭は“ほっ”とできる心のよりどころです。子どもとのコミュニケーションを大切に、子どもの心を受け止めるよう心がけましょう。

- 子どもが伝えたい思いを聴く
- お互いに優しい言葉（プラスの言葉）をつかう

自立のはじまり

この時期は親（保護者）への依存度が減り、自分自身の考え、判断で行動しようとし、それを押さえられると反抗的な態度にでることがあります。これは、自我が芽生えてきて自立が始まった証拠です。

親（保護者）は、必要に応じて毅然とした態度をとりながらも、子どもの考えを尊重し、助言するなど、子どもとのコミュニケーションを深め、子どもが困った時に相談できる親子の関係づくりに努めましょう。

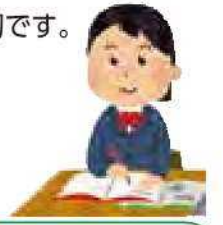
- 子どもと、学校での出来事について話している。 はい いいえ
- 子どもの友達の名前を知っている。 はい いいえ
- 家族団らんの場所や時間をつくっている。 はい いいえ
- 子どもの話を、顔を見ながら最後まで聴いている。 はい いいえ
- 子どもが努力している姿を応援している。 はい いいえ
- 困ったことは一人で悩まずに何でも話すように伝えている。 はい いいえ

「はい」の数 個

取り組ませたい

自主的な家庭学習・読書の習慣

学んだことを確実に定着させるためには、計画的に家庭学習に取り組むことが大切です。また、家庭でも読書を奨励しましょう。



- 継続は力なり
- 学習の話題を家庭で
- 本に親しむ

- 子どもの得意な教科を知っている。 はい いいえ
- 毎日、時刻を決めて学習を始めるよう話をしている。 はい いいえ
- 学習に、より関心が高まるようなアドバイスをしている。 はい いいえ
- 新聞やテレビのニュースなどを話題にしている。 はい いいえ
- 家族みんなが読書をする習慣がある。 はい いいえ

「はい」の数 個

予習と復習が大切です

- 学校で学んだことを確実なものにするためには、予習と復習が大切です。
 - 子どもが、自分に合った学習時間を決め、毎日継続して取り組めるよう、家庭での学習環境を整えましょう。
- ☆家庭学習の習慣の確立と充実をめざし、家庭でも活用できるヒントを掲載しています。

ちば 家庭学習のすすめ

家庭読書「家読」（うちどく）のすすめ

- 家族の時間やコミュニケーションが増え、家族の絆が強まります。
 - 読む力や聴く力、理解力、思考力、想像力、表現力、自己決定力などが培えます。
- ☆『図書館司書が選んだ子どもに読んでほしい本100選』（千葉県）が参考になります。

ちば 本 100選

育みたい

夢・希望

考えさせたい

進路

この時期の子どもたちは、自分を冷静に見つめ、自分探しをはじめます。主体的に進路を選択できるよう、子どもの適性を理解しながら、親子で話し合しましょう。

学校では、志をもってチャレンジする精神や、社会における自らの役割や将来の生き方・働き方を考える等のキャリア教育の推進に努めています。



- 自分らしい生き方
- 働くことの意義
- 進路の選択

- 子どもが興味をもっていることを知っている。 はい いいえ
- 自分の仕事の大変さや、やりがいについて話をしている。 はい いいえ
- 今の仕事を選んだときのエピソードについて語ったことがある。 はい いいえ
- 子どもの将来の夢や進路について、話し合っている。 はい いいえ
- 学校での学習と社会とのつながりについて、話したことがある。 はい いいえ

「はい」の数 個